

平成23年第1回上富田町議会臨時会会議録

開会期日 平成23年1月25日午前9時30分

会議の場所 上富田町議会議事堂

当日の議員の出欠は次のとおり

出席議員(11名)

1番	山本明生	2番	木村政子
3番	三浦耕一	4番	奥田誠
5番	大石哲雄	6番	畑山豊
7番	沖田公子	8番	榎本敏
9番	木本眞次	11番	吉田盛彦
12番	井澗治		

欠席議員(なし)

出席した事務局職員は次のとおり

事務局長 福田誠 局長補佐 嵯峨紀子

地方自治法第121条による出席者は次のとおり

町長	小出隆道	副町長	平見信次
教育委員長	木村悌吉	教育長	谷本圭司
会計管理者	浦勝明	総務政策課長	和田幸太郎
総務政策課 企画員	深見芳治	総務政策課 企画員	山本敏章
総務政策課 企画員	家高英宏	住民生活課長	廣井哲也
住民生活課 企画員	福田稔	住民生活課 企画員	谷本芳朋
住民生活課 企画員	福田睦巳	住民生活課 企画員	原宗男
税務課長	和田精之	税務課企画員	平田敏隆

産業建設課長	脇田英男	産業建設課員 企画員	平田隆文
産業建設課員 企画員	植本亮	産業建設課員 企画員	三栖啓功
産業建設課員 企画員	川口孝志	上下水道課長	木村勝彦
上下水道課員 企画員	植本敏雄	教育委員会 総務課長	笠松眞年
教育委員会 生涯学習課長	山崎一光		

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 議案第 1号 平成22年度上富田町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第 4 選挙第 1号 上大中清掃施設組合議会議員の補欠選挙について
- 日程第 5 選任第 1号 上富田町議会常任委員会委員の選任について
(産業民生常任委員会委員)
- 日程第 6 選任第 2号 上富田町議会特別委員会委員の選任について
(高速道路対策特別委員会委員)
- 日程第 7 選任第 3号 上富田町議会特別委員会委員の選任について
(議会広報特別委員会委員)

開 会 午前9時30分

議長（奥田 誠）

皆さん、おはようございます。

平成23年第1回臨時会を開会するにあたり、議員各位のご出席をいただき開会できますことを厚くお礼申し上げます。

ただいまの出席議員は10名であります。

10番、池口公二君については、去る1月15日付で町議会議員を辞職されたので、報告いたします。

6番、畑山議員からは遅刻届が出ております。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成23年第1回上富田町議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

また、地方自治法第121条の規定により出席要求した本臨時会の説明員についても、お手元に配付しています。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（奥田 誠）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において7番、沖田公子君、8番、榎本 敏君を指名します。

日程第2 会期の決定

議長（奥田 誠）

日程第2 会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間にしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

異議なしと認めます。

よって、会期は1日間に決しました。

町長より発言を求められておりますので、これを許可します。

(6 番 畑山 豊君 着席)

議長 (奥田 誠)

町長、小出君。

町長 (小出隆道)

おはようございます。

本日、ここに平成 23 年第 1 回上富田町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては公私ともまことに忙しいところご参集を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。また、平素は町政発展のために格別のご尽力とご協力を賜り、重ねて感謝を申し上げます。

平成 23 年度からの町行政運営の基本となる第 4 次上富田町総合計画についてですが、昨年 9 月に議会定例会で可決していただきました基本構想で定めた目標を達成するために、具体的施策を総合的かつ体系的に示した基本計画を策定中であり、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間と策定しつつ、5 年後に社会経済情勢の動向等を見きわめながら見直しを行うことにしております。

現在、第 3 次総合計画の検証結果、まちづくりアンケートの集計結果、町政報告会等の意見、県の長期総合計画、上位計画等の整合性、7 月から 8 月にかけて開催し、ご審議をいただきました総合計画基本構想審査特別委員会のご意見を踏まえ、さらに財政的な裏づけを考慮しつつ、総合計画審議会で議論していただいております。

町民の皆さんからもいろいろなご提言を受け、立派な計画を立て、実行できるよう努力しますので、ご理解をお願いします。

1 つ、ちょっとお願いしたいことがあるのです。

基本構想の中で十分精査したのですが、誤字とか言葉の誤りがある部分があります。例えば、商工業と入れるところを工業だけしか入れていないとか、そういう趣旨の変わらん部分で少し修正をさせていただくということで、事前にご理解をいただけるようお願いしたいと思います。

次に、平成 23 年度の当初予算の考え方がありますが、現在、鋭意、編成作業を行っており、社会情勢や経済状況の中で非常に厳しい予算編成を強いられています。

現政権の政策の動向を常に検討していますが、平成 23 年度の地方財政計画の概要を見ますと最大のポイントは、前年度に引き続き、地方が自由に使える財源を増やすための地方交付税の増額であります。国の出口ベースでは、平成 22 年度に比べ 0.5 兆円、率にしますと約 2.8% の増額となっております。

しかし、政策的なことになりますが、ひもつき補助金制度を廃止して一括交付金制度への移行をするということで事業が進められていますが、地域活性化交付金事業につき

ましては交付金対象事業等が明記されていたり等制限があり、実質従前の補助金制度と変わらないような感じになっております。

また、財政力の弱い地方公共団体に財政調整機能を強化する観点から、臨時財政対策債について市町村では対前年度比0.5兆円、率にしますと約19%の減額となっております。

これを上富田町にちょっと当てはめて考えたのです。上富田町の場合、普通交付税で15億5,900万円いただいております。2.8%増額としたら約4,000万円ぐらいの増額。

一方、臨時財政対策債では3億6,900万円ほどいただいているのですが、市町村で19%減額されたら7,000万円の減額になるのです。

そうしましたら、全体的に3,000万円の減額。要するに歳入につきましては、地方交付税と言いながらでもそういう減額の部分があるということのご認識をいただけるようお願いしたいと思っております。

子ども手当につきましては、平成22年度と同様に子ども手当の一部として児童手当を支給する仕組みとし、児童手当分は児童手当法の規定に基づき、国、県、市町村、事業主が負担することとし、3歳未満に対する上積み分7,000円につきましては全額国庫負担金となっております。

このように、地方が自由に使える財源を増やすといった形になっておりますが、反面、地方負担も増えるのではないかと懸念しております。

こうした非常に先行きが厳しい状況の中ではありますが、平成23年度は第4次総合計画の初年度にあたることから、総合計画に基づき予算を検討させております。現予算査定時では、事務的な集計では一般財源が不足となり、今後の査定では、従来の町単独事業の見直し節減や事業の執行順位、実施方法を検討して予算編成を行いますので、ご理解をお願いします。

さて、本臨時会に上程し、お願いをいたします議案としましては、平成22年度一般会計補正予算（第5号）でございます。

それでは、その概要を説明させていただきます。

議案第1号は、平成22年度上富田町一般会計補正予算（第5号）であります。

今回、既定額に2,771万7,000円を追加し、予算総額を63億1,982万1,000円と定めています。

補正予算の主な内容につきましては、総務費では、国の平成22年度補正予算（第1号）において創設されました地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金に係る事業については、県より交付限度額の通知がありましたので、今回、大阪市の岩本氏よりご寄付

をいただきました住宅について、小規模多機能施設整備事業として活用できるよう建物等改修工事請負費 9 3 0 万円、地域において読書機会を拡充することによって、読書啓発を通じた文化面の地域活性化を図るための図書等備品購入費 1 5 7 万円等で 1 , 1 9 0 万円を措置しております。

衛生費では、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの予防接種委託料としまして 1 , 5 8 1 万 7 , 0 0 0 円を措置しています。

接種対象者につきましては、子宮頸がん予防ワクチンは中学 1 年生から高校 1 年生年齢相当の女子としていますが、平成 2 2 年度は高校 1 年生相当の女子を対象としています。また、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは 0 歳から 4 歳の乳幼児であります。

歳入につきましては、国・県補助金、基金繰入金等で現在見込める範囲内で充当補填をしております。

以上が本臨時会に上程します議案の概要であります。詳細につきましては、担当課長並びに企画員より説明いたしますので、ご審議の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

日程第 3 議案第 1 号

議長（奥田 誠）

日程第 3 議案第 1 号、平成 2 2 年度上富田町一般会計補正予算（第 5 号）の件を議題とします。

当局より提案理由の説明を求めます。

総務政策課企画員、深見君。

総務政策課企画員（深見芳治）

おはようございます。よろしくお願いいたします。

議案第 1 号、平成 2 2 年度上富田町一般会計補正予算（第 5 号）。

平成 2 2 年度上富田町の一般会計補正予算（第 5 号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第 1 条、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 2 , 7 7 1 万 7 , 0 0 0 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 6 3 億 1 , 9 8 2 万 1 , 0 0 0 円とする。

2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

平成 2 3 年 1 月 2 5 日提出、上富田町長小出隆道。

次のページをお願いいたします。

「第1表 歳入歳出予算補正」です。

歳入につきましては、14款、国庫支出金では既定額に今回885万4,000円を追加し、7億7,904万3,000円と定めています。

15款、県支出金は既定額に711万7,000円を追加、18款、繰入金は既定額に1,174万6,000円を追加。

歳入合計では、既定額に今回2,771万7,000円を追加し、63億1,982万1,000円と定めています。

次のページをお願いします。

歳出につきましては、2款、総務費では既定額に1,190万円を追加し、8億8,545万1,000円と定めています。

4款、衛生費は既定額に1,581万7,000円を追加。

歳出合計では、既定額に今回2,771万7,000円を追加し、63億1,982万1,000円と定めています。

次の4ページをお願いいたします。

歳入歳出補正予算事項別明細書です。

1、総括につきましては、このページから6ページの明細につきましてはお目通しをお願いいたします。

それでは、各項目につきまして説明させていただきますので、7ページをお願いいたします。

2、歳入につきましては、今回の補正に係る財源です。

14款、国庫支出金の6目、総務費国庫補助金では、既定額に今回885万4,000円を追加し、6,151万9,000円と定めています。地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金の追加です。

15款、県支出金の3目、衛生費県補助金では、既定額に今回711万7,000円を追加、ワクチン接種緊急促進事業費補助金を追加しています。

18款、繰入金の6目、財政調整基金繰入金では1,176万円を追加しています。

次のページをお願いいたします。

3、歳出につきましては、国の補正予算(第1号)に伴う予算措置を行っています。

2款、総務費では、15目、住民生活に光をそそぐ交付金事業として今回1,190万円を措置しています。補助につきましては、大阪市の岩本氏よりご寄付を受けました南紀の台の建物を改修し、小規模多機能施設として活用するものであります。また、地域における読書機会を拡充、読書啓発を通じて文化面での地域活性化を図るため図書等購入費を措置しています。

4款、衛生費の2目、予防費では、委託料で予防接種委託料1,581万7,000円を追加しています。今回、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3つの予防接種が、平成22年度子宮頸がんワクチン接種緊急促進臨時特例交付金として措置されましたので、3つのワクチンの予防接種委託料の所要額を措置しています。

以上が今回の補正内容でございます。ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。
議長（奥田 誠）

本案について質疑を行います。

一括でお願いします。

質疑はありませんか。

12番、井潤君。

12番（井潤 治）

まず第1点は、これは聞いておきたいのですが、非常に文学的な表現であります地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金のことです。この交付金のメニューを、全体をひとつ明らかに述べていただきたいと思います。それが1つです。メニューがあると思いますよ。

2つ目には、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3つですけれども、これは、このワクチンを打つまでの経過ですね。その人にこのワクチンを接種するまでの経過はどういう経過になるかということを中心に説明していただきたいと思います。

もう1つは、このワクチンを打った結果、リスクがすぐに出るか、あるいは後期的に出るかという問題はどういうふうに医学的になっているかということについて質問したいと思います。

議長（奥田 誠）

総務政策課企画員、深見君。

総務政策課企画員（深見芳治）

12番、井潤議員さんの質問にお答えいたします。

まず、メニューでございます。弱者対策ということが基本に掲げられてございます。DV対策、それからいじめ等子供対策等がメニューとしてございまして、今回、当町では、この小規模多機能施設で弱者を救済するということを目的として申請しております。

議長（奥田 誠）

住民生活課長、廣井君。

住民生活課長（廣井哲也）

12番、井澗議員さんのご質問にお答えいたします。

接種までの経緯ということでございますけれども、一応、今回の補正の場合につきましては、対象となる方に対して接種の券をお送りさせていただいて、それでもって来ていただくということになります。子宮頸がんワクチンにつきましては、町内の医療機関で受けていただくということになっております。これにつきましては、いわゆる接種希望される医院さんについて、今、申し込みを受けているところでございます。

ヒブ及び小児肺炎球菌のワクチンの接種につきましては、小児科の医療機関が中心となってきます。これにつきましては、上富田町内の小児科、それから田辺市の小児科にお願いするということが既にお願いをしておるところでございます。

副反応ということでございますけれども、小児用肺炎球菌の副反応につきましては、ワクチンを接種した後に発熱や接種部分の腫れなどの副反応が起こる場合もございますけれども、これらにつきましてはほかのワクチンと同様ということで理解しております。

なお、ヒブワクチン等につきましては、三種混合ワクチンとの同時接種ということになっております。

先進国でいろいろ事例があるようでございますけれども、接種後につきましては極端にそういう発病は少なくなったということで理解しております。

以上でございます。

議長（奥田 誠）

12番、井澗君。

12番（井澗 治）

そのメニューですけどね、例えばここでは町長の説明要旨の中にありますように、何々事業と、こうなっているでしょう。そういう事業、今、言うた3つか4つぐらいしかないのですか、深見企画員が言ったようにね。例えばこの場合で言うたら、この活性化で言うたら、小規模多機能設備整備事業というようにして活用するということがなっているわけですけど、そういうメニューの形が幾つあって、そこからこれを抜き出したのだという説明が欲しいと思うのですよ。それをもう1回質問しておきます。

もう1つは、今、後遺症云々含めてリスクの問題がないというように言われましたけれども、例えば子宮頸がんの場合、そういう可能性は十分あるのじゃないかというのがいわれておるのですけど、それも大丈夫なのですか。

つまり、私がなぜ経過を聞いたかといいますと、子宮頸がんワクチンについて、もちろん希望者を対象に募るわけですが、体質とかいろいろあるかと思うのですが、そういうものについては全然考慮なしに、打つときにそういうことを調べるのかどうか

というようなことを含めてね、やっぱりリスクがあるのかなのかということ、私はある程度踏まえていただかなければいけないんじゃないかというように思うので、再度質問します。

議長（奥田 誠）

総務政策課企画員、深見君。

総務政策課企画員（深見芳治）

12番、井濶議員さんの質問にお答えいたします。

メニューといたしましては、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら光が十分に当てられてこなかった分野、地方消費者行政、DV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援、知の地域づくりに対する地方の取り組みを支援するとされておりまして、メニューといたしましては、地方消費者行政、DV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援、知の地域づくり地方単独事業等が挙げられてございます。

この中で今回、上富田町は先ほど言いました事業を選択し、現在、申請を行い、今、交付に向けて取り組んでいるところであります。

議長（奥田 誠）

住民生活課長、廣井君。

住民生活課長（廣井哲也）

12番、井濶議員さんのご質問にお答えいたします。

今、ご指摘いただきました子宮頸がんの予防ワクチンの接種の副反応等でございますけれども、全く副反応がないと言い切れるというものではないと思います。ただ、それを踏まえまして、あくまでも任意接種ということで実施させていただきたいと思っております。強制ではもちろんございませぬし、あと、接種するかせんかの判断につきましては、中学生、高校生段階になった親御さんの判断になろうかと思っております。

ただ、調べましたところ、そういう重篤な副反応というのはまだあらわれていないということはお伺いしておりますし、一部、子宮頸がんワクチンの接種によって不妊症になるというふうなうわさというのも出回っていたということもあるようでございますけれども、これらにつきましても、不妊を誘発させるような作用がないことも確認されているということで認識しております。

以上でございます。

議長（奥田 誠）

12番、井濶君。

12番（井濶 治）

もう1点だけ。

このワクチンそれぞれ、これは日本産、日本の製薬の会社のものですか、それともどこから輸入したものを使うわけですか。

議長（奥田 誠）

住民生活課長、廣井君。

住民生活課長（廣井哲也）

12番、井澗議員さんの質問にお答えいたします。

グラクソ・スミス社という製薬会社があるようなのですが、そちらの方の製品とお聞きしています。

議長（奥田 誠）

ほかに質疑ありませんか。

9番、木本君。

9番（木本眞次）

ちょっと関連でお聞きするのですが、これは平成22年度の補正ですが、補正の中では今回は高校1年生相当の女子だということなのですが、来年度、再来年度となるのですが、そういうこともやっぱり予算的には、今後、入れていくつもりですか。その点だけ、ちょっとお聞きしたいです。

議長（奥田 誠）

住民生活課長、廣井君。

住民生活課長（廣井哲也）

木本議員さんのご質問にお答えいたします。

22年度の補正予算につきましては、高校1年生相当年齢の方が対象となります。それにつきましては、これは3回接種ということになっておりまして、1回目で22年度に接種していただきますと補助対象になって、2回、3回の分につきましても、来年度、23年度になっても補助の対象になるということで、今回、実施させていただきたいと思っております。

それから来年度につきましては、国費対象が中学1年から高校1年生相当の4年間の方が対象になるということになりますので、23年度当初につきましてはそのようなことで予算をお願いしたいと思っております。

以上でございます。

議長（奥田 誠）

9番、木本君。

9番（木本眞次）

今、言われるように、中学1年生だったら4年間ということなのですが、中学1

年生女子というのは来年も再来年もだんだん増えてくると思うのですが、ずっともう町としてはそういう計画を持っておるのですか。

議長（奥田 誠）

町長、小出君。

町長(小出隆道)

医療については非常な難しい問題があると思います。例えば、たびたびいわれるように、無料化について中学生までするよというようなこともありますし、今回のワクチンのようなこともあります。

できたら、国の政策に伴うことについては23年であろうと24年であろうとしたいと思います。

ただ、このお金は相当大きくなってきて、委員会で言いましたように、自由になるお金が年々少なくなってくるという認識をお願いしたいので、できたらこういうものを優先にすることによってほかの事業にしわ寄せになってくることはご理解いただきたいのですが、やはり国の政策でありますので、同じように予算計上はさせていただくということでご理解いただけるようにお願いします。

議長（奥田 誠）

ほかに質疑はありませんか。

5番、大石君。

5番（大石哲雄）

1点だけ。

小規模多機能整備施設なのですが、完成後の設備、また運営上の管理責任体制はどんなになっていますか。

議長（奥田 誠）

町長、小出君。

町長(小出隆道)

この施設の先進地についても、視察をさせているのです。近いところは、みなべでございます。実費については公費で見ると、ボランティア活動でしているというのが大半なのです。

ただ上富田町の場合、例えば電気費は上富田町で持つけど、そこへ行って常駐するボランティアの人があるのかないのか、今のところわからなくて、できたら国の方でそういう補助事業がないか検討してほしいよという申し込みをしておりますけど、多分ボランティアでやっていただくという格好になるか、町費で持ってでもしなければならぬかという結論は今日の段階では難しいです。

ただ、先日もお話ししたのですが、電気代、水道代、ガス代とか、こういうものについては個人の負担とならるので、23年度予算でできたら計上させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

以上でございます。

議長（奥田 誠）

5番、大石君。

5番（大石哲雄）

南紀の台の地域の方々に依頼するというようなことはなしに、全町内的なボランティアを求めるといふことになるのですか。

議長（奥田 誠）

町長、小出君。

町長（小出隆道）

これはもう憶測ですけど、大字に1つぐらいこういう施設をつくったら非常にいいかなと思っております。といいますのは、今後、協働という名で井澗議員から再三指摘されておりますけど、やはり地域のことは地域で助けていただくということで、例えば南紀の台はこの施設、朝来とかどこで空き家があったらしたいというような考え方を持っておりますけど、これも先ほど言いましたように町単独の部分になります。それだけの福祉予算が、今後、町費で賄えるか賄えんかというのが出てきますので、今後の相談とさせていただけるようにお願ひしたいと思っております。

以上でございます。

議長（奥田 誠）

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終了します。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

12番、井澗君。

12番（井澗 治）

平成22年度上富田町一般会計補正予算（第5号）に反対いたします。

この議案そのものは、かがみにありますように、第1条として2,771万7,000円を追加して総額を63億1,982万1,000円にすると。これが議案でありま

す。その中の1つが、今、補正を出されている項目であります。

この項目につきましては非常に生活に直結した問題として、やってしかなるべきものであると思います。ただ、1つ、私、質疑しましたとおり、このワクチンというのは非常に、外国製か日本製かということも関係してくるかとは思うのですけれども、リスクというのが将来的に出てくる場合があると。あるいはまた現実に、多数とは言いませんけど、一、二年後に出てくるという場合もあるというようなことを私は聞いたことがありますので確認したのですが、まあ、そういうこともないであろうということではありますが、このことにつきましては、やることは私はいいいことだと思います。

それから南紀の台のことにしましても、ああいうのがどんどんできていけば、そこが1つのたまり場になり、地域の活性化につながっていくと、この点では私はいいいと思うのです。

しかし、総額の予算の中で、町長も苦痛に満ちた顔でおっしゃられましたけれども、お金の問題ですね。交付税が削られてきていることについては、まだまだ復活されていない。自民党・公明党政権が敷いてきた路線が民主党に引き継がれて、そのまま引き継いだために、彼らはいいいマニフェストを持っていたけれども、なかなかそれは実行できない。

それはなぜかといいますと、お金のつくり方の問題であったわけです。自民党と同じように、大企業とかいうものの税金はまけてあげる、あるいは大金持ちのものについてはまけてあげる。だけど、そのものについては今度は消費税を導入していこうとか、あるいは国の予算そのものの中からそれを切ることによって住民負担は限りなく増えているという状況が、今、あります。

だから、もう既に自民党が敷いてきた路線というのは破綻しているわけですね。その破綻を引き継いだために、またまた民主党政権が混迷を続けております。

そういう中である、大変大きな影響を受けた予算として、当初予算のときにも申しましたように、そういう理由によって反対をいたします。

議長（奥田 誠）

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

6番、畑山君。

6番（畑山 豊）

上富田町一般会計補正予算（第5号）に賛成をします。

先ほど町長が説明をされたように、国の施策に基づいてできる限りのことは実施をしていきたいということは、恐らく町住民が負担になるようなことのないように進めたいという考えであろうかと思えます。

井澗先生が言われた、国の施策は恐らく今の状態では思うようにはならないかと思いますが、町当局の考え方に私は賛成をします。

以上です。

議長（奥田 誠）

次に、本案に対する反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案1号、平成22年度上富田町一般会計補正予算（第5号）の件を採決します。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

議長（奥田 誠）

挙手多数であります。

よって、本案は可決されました。

議員の皆さんにご報告いたします。

これより行う選挙第1号及び選任第1号から選任第3号までの4件については、池口公二君の町議会議員辞職に伴い、上大中清掃施設組合議会議員、また町議会の常任委員会、特別委員会の委員にそれぞれ1名欠員が出ていますので、今回、本臨時会において選挙及び選任を行うものです。

日程第4 選挙第1号

議長（奥田 誠）

日程第4 選挙第1号、上大中清掃施設組合議会議員の補欠選挙を行います。

事務局より朗読させます。

事務局長。

議会事務局長（福田 誠）

朗読いたします。

選挙第1号、上大中清掃施設組合議会議員の補欠選挙について。

上大中清掃施設組合同規約第9条の規定により、組合議会議員の補欠選挙を行う。
選挙すべき数、1名。

平成23年1月25日、上富田町議会議長。

以上です。

議長（奥田 誠）

お諮りします。

選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選にしたいと思いま
す。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決しました。

お諮りします。

被選挙人の指名の方法については、議長が指名することとしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

異議なしと認めます。

よって、議長が指名することに決しました。

暫時休憩をします。

休憩 午前10時08分

再開 午前10時14分

議長（奥田 誠）

再開します。

指名します。

上大中清掃施設組合同議会議員に、9番、木本眞次君を指名します。

お諮りします。

ただいま指名しました9番、木本眞次君を上大中清掃施設組合同議会議員の当選人と定
めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(奥田 誠)

異議なしと認めます。

よって、ただいま指名しました9番、木本眞次君が上大中清掃施設組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました9番、木本眞次君が議場におられますので、本席から会議規則第33条第2項の規定により告知をします。

日程第5 選任第1号

議長(奥田 誠)

日程第5 選任第1号、上富田町議会常任委員会委員の選任についての件を議題とします。

事務局長より朗読させます。

事務局長。

議会事務局長(福田 誠)

朗読いたします。

選任第1号、上富田町議会常任委員会委員の選任について。

上富田町議会委員会条例第7条第1項の規定により、上富田町議会常任委員会委員の選任を行う。

選任すべき数、産業民生常任委員会委員1名。

平成23年1月25日、上富田町議会議長。

以上です。

議長(奥田 誠)

委員の選任についていかがでしょうか。

(「議長一任」の声あり)

議長(奥田 誠)

議長一任の声があります。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(奥田 誠)

異議なしと認めます。

議長一任とします。

産業民生常任委員会委員に、私、4番、奥田 誠を委員会条例第7条第1項の規定に

より指名します。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(奥田 誠)

異議なしと認めます。

よって、産業民生常任委員会委員の選任については、ただいま指名しましたとおり決定いたしました。

日程第6 選任第2号

議長(奥田 誠)

日程第6 選任第2号、上富田町議会特別委員会委員の選任についての件を議題とします。

事務局長より朗読させます。

事務局長。

議会事務局長(福田 誠)

朗読いたします。

選任第2号、上富田町議会特別委員会委員の選任について。

上富田町議会委員会条例第7条第1項の規定により、上富田町議会特別委員会委員の選任を行う。

選任すべき数、高速道路対策特別委員会委員1名。

平成23年1月25日、上富田町議会議長。

以上です。

議長(奥田 誠)

委員の選任についていかがでしょうか。

(「議長一任」の声あり)

議長(奥田 誠)

議長一任の声があります。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(奥田 誠)

異議なしと認めます。

議長一任とします。

高速道路対策特別委員会委員に、6番、畑山 豊君を委員会条例第7条第1項の規定

により指名します。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(奥田 誠)

異議なしと認めます。

よって、高速道路対策特別委員会委員の選任については、ただいま指名しましたとおり決しました。

この委員会につきましては委員長が欠けていますので、暫時休憩をしたいと思います。委員会を開催していただき、委員長の選出をお願いしたいと思います。

暫時休憩をします。

休憩 午前10時17分

(委員長の選出)

再開 午前10時33分

議長(奥田 誠)

再開します。

委員長の発表をします。

高速道路対策特別委員会委員長に、畑山 豊君が選出されました。よろしくお願いたします。

日程第7 選任第3号

議長(奥田 誠)

日程第7 選任第3号、上富田町議会特別委員会委員の選任についての件を議題とします。

事務局より朗読させます。

事務局長。

議会事務局長(福田 誠)

朗読いたします。

選任第3号、上富田町議会特別委員会委員の選任について。

上富田町議会委員会条例第7条第1項の規定により、上富田町議会特別委員会委員の選任を行う。

選任すべき数、議会広報特別委員会委員1名。

平成23年1月25日、上富田町議会議長。

以上です。

議長（奥田 誠）

委員の選任についていかがでしょうか。

（「議長一任」の声あり）

議長（奥田 誠）

議長一任の声があります。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

異議なしと認めます。

議長一任とします。

議会広報特別委員会委員に、1番、山本明生君を委員会条例第7条第1項の規定により指名します。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

異議なしと認めます。

よって、議会広報特別委員会委員の選任については、ただいま指名しましたとおり決しました。

閉 会

議長（奥田 誠）

以上をもって、本臨時会に付議された事件の審議はすべて終了しました。

町長より発言を求められておりますので、これを許可します。

町長、小出君。

町長(小出隆道)

第1回上富田町議会臨時会を閉会するにあたり、お礼のごあいさつを申し上げます。

本臨時会に上程しました平成22年度一般会計補正予算（第5号）につきましては、ご承認を賜り厚くお礼を申し上げます。

上程した予算につきましては国の経済対策で事業を実施しているところではありますが、本予算も含み、経済対策事業は追加予算の関係で、どうしても平成23年3月31日までに事業が完成することができない事業が多々あります。繰り越し事業になることがあ

りますので、事前にご理解をお願いします。

次に、2月6日に実施される紀州口熊野マラソンも予定どおり準備が進んでいることと、クリアカンマラソン実行委員会とは諸般の事情で交流は中段します。ハンガンマラソンは、相手側の実行委員会から実行委員会委員と選手派遣の申し出があります。受け入れは行います。また、こちらからの派遣は4月下旬となりますが、口熊野マラソン実行委員会としましては昨年同様に、実行委員会、選手、募集した民間の方より派遣団を結成しますので、議員の皆さんも希望がありましたら派遣団に加わっていただけるようお願いします。

次に、これも毎年、議員さんにも参加をいただいておりますが、商工会主催の商工懇話会を2月21日月曜日に朝日リゾートホテル白浜で開催します。本年は講師を招くのではなく、第4次総合計画を説明して、商工業の振興について意見交換を予定しています。こちらも、ぜひとも出席いただけるようお願いしまして、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

議長（奥田 誠）

お諮りします。

これをもって平成23年第1回上富田町議会臨時会を閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（奥田 誠）

ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会はこれにて閉会することに決しました。

これにて平成23年第1回上富田町議会臨時会を閉会します。

皆さん、どうもありがとうございました。

閉会 午前10時38分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

上富田町議会議長 奥田 誠

議事録署名議員 沖田 公子

議事録署名議員 榎本 敏